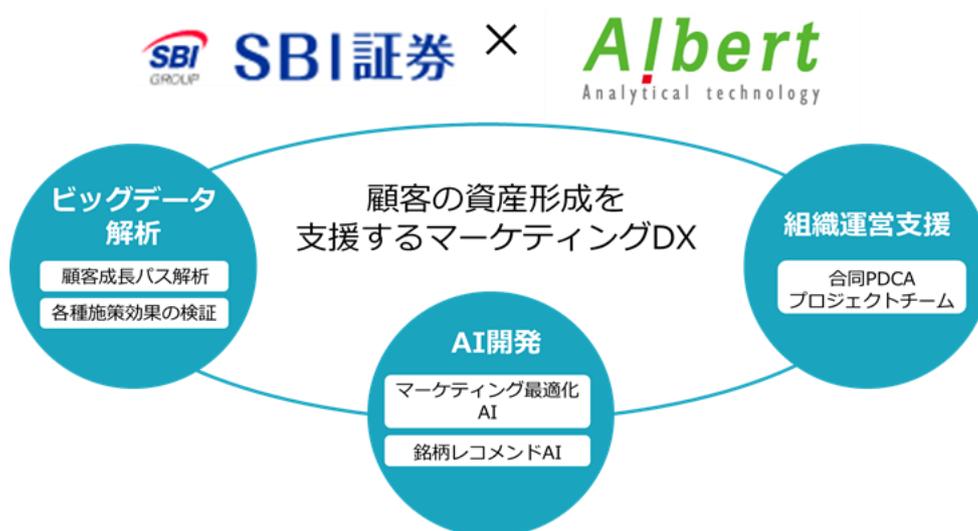


2022年3月28日

各位

株式会社 SBI証券

SBI証券、ALBERTとマーケティングDXの取組みを強化
～共同開発したマーケティング最適化AIモデル実装と新たなAIモデルの開発開始により、
個人投資家の中長期的な資産形成を支援～



株式会社 SBI証券(本社:東京都港区、代表取締役社長:高村正人、以下「当社」)は、データ分析・AI社会実装を手掛ける株式会社 ALBERT(アルベルト、本社:東京都新宿区、代表取締役社長:松本壮志、以下「ALBERT」)と、金融サービス高度化に向けたAIモデルの開発に取り組んでおり、2021年12月から、当社におけるマーケティングシステムにALBERTの開発したAIモデルが実装されました。

また、当社が取り組むネオ証券化(手数料ゼロ化:オンラインでの国内株式取引の手数料や現在投資家が負担している一部費用の無料化を図ること)に向け、更なるマーケティングDXを推進するため、ALBERTは各種AIモデルの開発、ビッグデータ解析、マーケティング組織の運営支援(データに基づくPDCA)を組み合わせることで支援します。

ALBERTとSBIホールディングス株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:北尾吉孝、以下「SBIHD」)は2021年6月に資本業務提携を開始しており、SBIグループの保有する知見やビッグデータとALBERTの持つ分析技術やAIプロダクトを融合させ、当社のデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進に向けて協業しており、本取組みはその一環になります。

■背景

「老後 2,000 万円問題」や「人生 100 年時代」を背景として「貯蓄から資産形成へ」の関心が高まりを見せる中、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う世界的な金融緩和による市況の影響もあり、直近 1 年間の SBI 証券の新規口座開設者は 100 万人を超え、うち 20 代・30 代が約 6 割、株式投資未経験者が約 8 割を占めるなど、若年層や投資初心者を中心に個人投資家の裾野は着実に広がっています。

若年層をはじめとする個人投資家の中長期的な資産形成を支援するべく、新たに開発した AI モデルを活用して、中長期的な顧客との関係構築に貢献するマーケティングの最適化・デジタルマーケティングの高度化を実現し、一人ひとりの投資意向に合わせた顧客提供価値の最大化を目指します。

■取組概要

・実装されたマーケティング最適化 AI

従来、短期的かつ個別のマーケティング施策の効果を分析し評価していたのに対して、顧客との中長期的な関係性を前提に最適化されたマーケティング施策を実現するため、様々なマーケティング施策を定量的に評価し顧客属性ごとに適切な商品提案を可能とする AI モデルを開発、実装しました。これにより、新規顧客の獲得や既存顧客のサービス利用頻度向上のためのマーケティング効果の検証を精緻化し、中長期的にはデータに基づいたパーソナライズマーケティングの実現に貢献します。

・ビッグデータ解析に基づく顧客成長パスの解析

当社の保有する膨大な顧客データや取引データから、顧客の資産形成パターンを分析・クラスタリング*1 することにより顧客の成長パスを分析します。顧客が所属するクラスターごとに的確なマーケティング施策を行うことで、顧客にとってより良い資産形成方法等有用な情報を提示します。

・マーケティング組織運営の支援

当社と ALBERT の合同プロジェクトチームを組成し、各種マーケティング施策の企画・立案と PDCA を高速で実施します。開発した AI やビッグデータ解析から得られた示唆を実際のマーケティング活動に反映させ、サービスの早期提供や高度化を支援します。

*1…クラスター (cluster) とは、英語で「房」「集団」「群れ」のことで、似たものがたくさん集まっている様子を表します。クラスター分析とは、異なる性質のものが混ざり合った集団から、互いに似た性質を持つものを集め、クラスターを作る方法です。対象となるサンプル (人、行) や変数 (項目、列) をいくつかのグループに分ける、簡単にいえば「似たもの集めの手法」です。

https://www.albert2005.co.jp/knowledge/data_mining/cluster/cluster_summary

■株式会社 SBI 証券 執行役員 事業開発部長 喜志 武弘 氏

SBI 証券は、お客さまの利益を最優先する「顧客中心主義」を貫き、これまでも、その時代の革新的な技術を積極的に活用してまいりました。SBI 証券は、さらなる「顧客中心主義」の徹底を図るため、①AI モデルの開発、ビッグデータ解析に関する確かな技術力、②業界最大規模のデータサイエンティスト数、③金融業界に関する深い知見を有する ALBERT 様と共に、マーケティング領域にとどまらない、各事業および経営資源への AI の導入

と活用を、積極的かつ迅速に推進してまいります。

■株式会社 ALBERT 代表取締役社長 松本 壮志 氏

ALBERT は日本屈指のデータサイエンスカンパニーとして、産業に実装される AI 開発やデータサイエンティスト育成を通して社会に貢献して参りました。SBI グループが保有するビッグデータ活用や AI モデル開発支援により、SBI 証券様のマーケティング DX 推進を一層加速させるものと確信しております。産業の枠を超えたデータシェアリングを創発する「CATALYST 戦略」のもと、今後も一層 SBI 証券様との連携を強化し、データサイエンスを通じた新たな顧客価値を共創して参りたいと考えております

■今後の展望

当社は、ALBERT との本取組みを通じて DX を推進すると共に、顧客一人ひとりの投資意向・投資行動に合わせて資産形成をサポートできるようなマーケティング施策の高度化、最適化を実現してまいります。

<金融商品取引法に係る表示>

商号等 株式会社 SBI 証券 金融商品取引業者
登録番号 関東財務局長(金商)第 44 号
加入協会 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本 STO 協会

<手数料等及びリスク情報について>

SBI証券の証券総合口座の口座開設料・管理料は無料です。

SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります(信用取引、先物・オプション取引、外国為替保証金取引、取引所CFD(くりっく株365)では差し入れた保証金・証拠金(元本)を上回る損失が生じるおそれがあります)。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。
